

# 須田悦弘展

プレスリリース

## 展覧会情報

会 期 2012年10月30日(火)―12月16日(日)  
会 場 千葉市美術館 8階展示室、1階さや堂ホール  
開館時間 10:00―18:00(毎週金・土曜日は20:00まで)  
※ 入場受付は閉館の30分前まで  
休 館 日 第1月曜日(11月5日、12月3日)  
観 覧 料 一般 1000円(800円) 大学生 700円(560円)  
※ 前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ(10月29日まで)、  
ローソンチケット(Lコード | 38099)、セブンイレブン(セブン  
コード | 019-162)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」  
「都賀駅」「千城台駅」の窓口(12月16日まで)にて販売  
※ 小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料  
※ ( )内は前売・団体20名以上、および市内にお住まいの60歳以上の  
方の料金  
主 催 千葉市美術館 協 力 ギャラリー小柳



《芙蓉》2012年 作家蔵

## 展覧会概要

本物と見紛うほどリアルな花や草の木彫で知られる作家、須田悦弘。自ら制作した木彫を、美術館の展示室や古い建物の片隅に忍ばせ、作品のためにつくられた建屋内に納め、ときには過去の名品と組み合わせで展示します。とても小さな花や草の木彫を置くだけで、無機質な展示室さえも魅力ある空間に変貌させてしまいます。日本の伝統を想起させる木彫という手法と花というモチーフにこだわりつつも、それらをインスタレーションという新しい手法と結びつける彼の活動は、1990年代中頃以降、現代アートのみならず、幅広い領域から注目されてきました。

本展では、最初の作品《銀座雑草論》(1993)から、代表作《泰山木：花》(1999)、《睡蓮》(2002)を経て、新作《芙蓉》(2012)までの須田の仕事を紹介します。美術館エントランス・ホール(さや堂ホール)として保存されている昭和2年建造の洋風建築(旧川崎銀行千葉支店)でも、この場所のためにつくられた新作を展示。さらに7階展示室では、日本美術に造詣が深い作家自ら、千葉市美術館のコレクションから江戸時代の絵画・版画の名品を選び、「須田悦弘による江戸の美」展を開催します。出品作と須田の木彫を組み合わせた展示も行いますので、新旧の美の競演をお楽しみください。

須田悦弘は、これまで国内では、原美術館、アサヒビール大山崎山荘美術館、国立国際美術館(三作家の個展を同時開催)、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館等で個展を開催してきました。これらをしのぐ規模の本展は、首都圏のみならず須田の魅力をご覧ください。またとない機会となります。



《泰山木：花》1999年 千葉市美術館蔵

関連企画

■須田悦弘公開制作

須田悦弘がまる1日かけて《雑草》を公開制作し、完成後、展示室内に設置します。作家の精密な木彫技術を直接間近でご覧いただけます。(作業中に随時休憩をとることがあります。時間中であれば、自由に観覧可能です。)

11月11日(日)／10:00より17:00まで  
11階講堂にて／観覧無料

■須田悦弘講演会

スライドを用いて、須田悦弘が自作を解説します。

11月18日(日)／14:00より(13:30開場)  
11階講堂にて／定員150名／聴講無料

[申込方法]往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号、参加人数(2名まで)を明記の上

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8  
千葉市美術館 須田悦弘講演会係 まで

**(10月31日(水)必着)**

※1人1通まで、申込多数の場合は抽選

■映画上映会

「利休」

学生時代の須田悦弘に感銘を与え、その作品制作にも影響を及ぼした映画。

監督:勅使河原宏 脚本:赤瀬川原平(1989年作品、135分)

12月9日(日)／14:00より(13:30開場)

11階講堂にて／先着150名／観覧無料

■市民美術講座

「須田悦弘-空間を見いだすこと」

講師:水沼啓和(当館学芸員)

11月24日(土)／14:00より(13:30開場)

11階講堂にて／先着150名／聴講無料

■ギャラリートーク

担当学芸員による-10月31日(水)

ボランティアスタッフによる-会期中の毎週水曜日14:00より  
(10月31日をのぞく)

プレス内覧会

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。展示作品をご覧いただき、作品の見どころなどを担当学芸員よりご説明します。また、当日は須田悦弘氏も来場予定です。

日時:10月29日(月)14:00より(40分程度)／場所:千葉市美術館10階会議室にて

ご参加いただける場合は、広報担当・磯野までご連絡ください。(TEL:043-221-2313/isono@ccma-net-ne.jp)

DIC 川村記念美術館との提携

本展では、より多くの方に現代美術に親しんでいただくために、千葉県佐倉市にあるDIC 川村記念美術館と提携を行います。両館をお得に回れる相互割引や無料往復バスなどを使って、現代美術を堪能しませんか？

◆チケット半券提示による相互割引

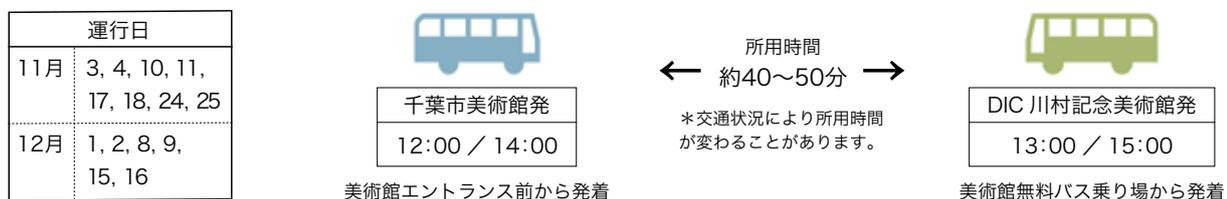
DIC 川村記念美術館で開催される「中西夏之展」の会期中に相互割引を行います。対象チケットの半券(有料券のみ)をご提示いただいたお客様には、入場料を割引させていただきます。

千葉市美術館 一般 1000円→700円 大学生 700円→490円  
DIC 川村記念美術館 一般 1200円→1000円 学生・65歳以上 1000円→800円



◆無料往復バス

「須田悦弘展」とDIC 川村記念美術館の「中西夏之展」の会期が重なる期間の土・日曜日に、両館を往復する無料バスを運行します。



## 同時開催

## 須田悦弘による江戸の美

2012年10月30日(火)―12月16日(日)

須田悦弘が、千葉市美術館のコレクションから選んだ江戸絵画・版画の名品・珍品をユニークな方法で展示。また展覧会の随所で、自作の木彫を出品作品と組み合わせて展示します。新旧の美の競演をお楽しみください。

## ■関連企画

## 市民美術講座

## 「日本美術にみる内と外」

講師：河合正朝(当館館長)

12月8日(土)／14:00より(13:30開場)

11階講堂にて／先着150名／聴講無料



須田悦弘《椿》2002年 ©Yoshihiro Suda / Courtesy of Gallery Koyanagi、  
無款《椿図屏風》江戸時代前期 個人蔵(千葉市美術館寄託)

## 次回展予告

ボストン美術館 ビゲロー・コレクションのきものが初里帰り

## 「Kimono Beauty ― シックでモダンな装いの美 江戸から昭和 ―」

2013年1月4日(金)―2月11日(月・祝)

江戸時代中期から昭和初期のきものに、髪飾りなどの装身具や当時の女性風俗を描いた絵画も合わせて展示し、きものの美と日本女性の細やかな美意識を検証します。さらにボストン美術館の所蔵品から、明治期に来日したアメリカ人ウィリアム・ビゲロー収集のきものが特別出品され、一層華やかに新年を彩ります。



《白綾子地竹垣牡丹模様小袖》  
江戸時代・18世紀前半 ボストン美術館蔵  
Photograph ©2012 Museum of Fine Arts, Boston

## 交通案内

## 千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311 (代)

FAX. 043-221-2316

<http://www.ccma-net.jp>

## ◎ JR 千葉駅東口より

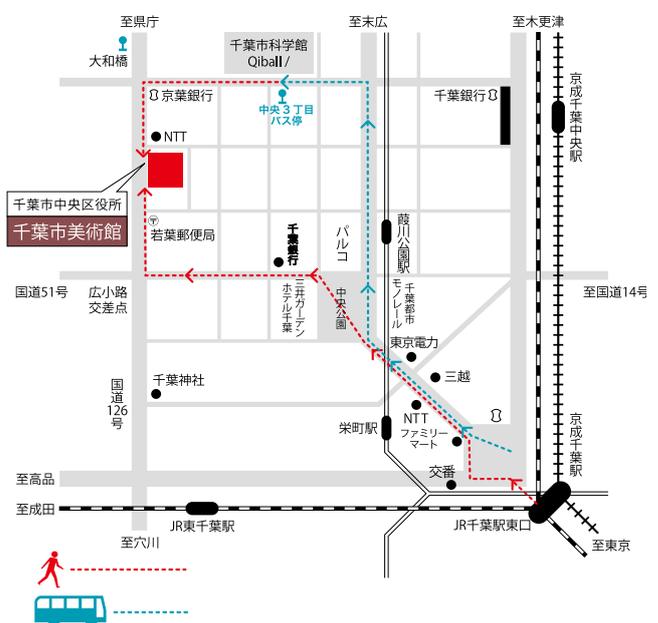
- ・徒歩約15分
- ・バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分
- ・千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分

## ◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

## ◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください



## 『須田悦弘展』 ご紹介のお願い

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介くださいますようお願いいたします。  
ご紹介いただけます場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡下さい。  
使用はお申し込みの通り1回限りとし、内容をご了承下さい。



1.  
《芙蓉》  
2012年  
作家蔵



2.  
《睡蓮》  
2002年  
アサヒビール大山崎山荘美術館蔵



3.  
《泰山木：花》  
1999年  
千葉市美術館蔵



4.  
《銀座雑草論》  
1993年  
山梨県立美術館蔵



5  
《東京インスタレイション》  
1994年  
作家蔵(山梨県立美術館寄託)



6.  
須田悦弘《椿》2002年 作家蔵  
／無款《椿図屏風》江戸時代前期  
個人蔵(千葉市美術館寄託)

所蔵作品展「須田悦弘による江戸の美」

**「須田悦弘展」**  
**広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書**

■ 写真ご使用に際してのお願い

- \* 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- \* 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- \* 恐れ入りますが、基本情報確認のため、広報担当まで一度原稿をお送り下さい。
- \* 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付下さいますようお願いいたします。
- \* お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。  
 原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送り申し上げます。

千葉市美術館  
**広報担当 行**  
 FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者：	発行日予定：
ご連絡先電話：	発行部数：
FAX:	定価：
Email:	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>（おおよそで結構です 例：10cm 四方、など）</small> ：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 《芙蓉》 2012 作家蔵
2. 《睡蓮》 2002 年 アサヒビール大山崎山荘美術館蔵
3. 《泰山木：花》 1999 年 千葉市美術館蔵
4. 《銀座雑草論》 1993 年 山梨県立美術館蔵
5. 《東京インスタレイション》 1994 年 作家蔵(山梨県立美術館寄託)
6. 須田悦弘 《椿》 2002 年 作家蔵 / 無款 《椿図屏風》 江戸時代前期 個人蔵 (千葉市美術館寄託)  
(所蔵作品展「須田悦弘による江戸の美」)

■ プレゼント用招待券申込

(ご希望の場合はチェックをつけてください)

5 組 10 名様 希望します。

(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。)

チケット送付先  
 ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

E-mail : mizunuma@ccma-net.jp (担当学芸員 水沼啓和)  
 isono@ccma-net.jp (広報担当 磯野 愛)

Tel. 043-221-2311 (代表) / 043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

HP. <http://www.ccma-net.jp/>